

第132回 日商簿記検定試験 1級 一商業簿記一 解 説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

1. 手形の不渡りに関する事項

(借)	不 渡 手 形	50	(貸)	現 金 預 金	5,060
	保 証 債 務	150			
	保 証 債 務 損 失	4,860			

- ① 手形割引時には、二次的責任である保証債務を時価により認識しているが、手形の不渡りに伴う割引手形の買戻しを行うことにより、当該債務は消滅することになる。
- ② 損益計算書の表示上は、保証債務費用（手形売却損）と貸倒引当金戻入は相殺する。

2. 債権譲渡に関する事項

(借)	未 収 金	16,000	(貸)	長 期 貸 付 金	18,000
	回 収 業 務 資 産	3,600		長 期 貸 付 金 売 却 益	1,600

① 考え方

貸付金の回収に係る権利を他社へ譲渡するが、債権の回収業務は当社が引続き担当するため、貸付金18,000千円を売却によって消滅した部分（未収金）と引続き当社に存続する部分（回収業務資産）に分解する。



② 長期貸付金の按分計算

消滅部分 18,000千円×16,000千円／（16,000千円+4,000千円）=14,400千円

存続部分 18,000千円×4,000千円／（16,000千円+4,000千円）=3,600千円

③ 長期貸付金売却益の計算

16,000千円（売却代金）－14,400千円（売却原価）=1,600千円

3. リースに関する事項

(借)	リ ー ス 債 務	3,556	(貸)	現 金 預 金	4,000
	支 払 利 息	444			

① 支払利息の計算

11,101千円（TBリース債務）×4%≒444千円

② リース債務の計算

4,000千円－444千円=3,556千円

4. 現金預金に関する事項

- (1) 銀行勘定調整表 ⇒ 不一致の原因の⑥については、差額によってその金額を求める。

銀 行 勘 定 調 整 表			
平成 24 年 3 月 31 日		(単位：千円)	
I 企業側残高	9,400	I 銀行側残高	4,310
II 増加高		II 増加高	
⑥	(180)	③	50
III 減少高		III 減少高	
①	358	②	200
④	2		
⑤	5,060		
	4,160		4,160

- (2) 電気料金及び借入金利息の自動引落し (①)

(借)	販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	58	(借)	現 金 預 金	358
	支 払 利 息	300			

- (3) 当座管理手数料未記入分 (④)

(借)	販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	2	(貸)	現 金 預 金	2
-----	-------------------	---	-----	---------	---

- (4) 買掛金の未渡小切手 (⑥)

(借)	現 金 預 金	180	(貸)	買 掛 金	180
-----	---------	-----	-----	-------	-----

- (5) 割引手形の買戻しと諸費用の支払 ⇒ 上記1. で処理済

5. 商品売買に関する事項

- (1) 期末商品棚卸高

① 数量

1,200個+5,000個+5,400個－10,000個=1,600個

② 単価

払出単価の計算については先入先出法を採用しているため、期末商品は下半期仕入分のみから構成されることになる。そのため、期末商品の取得原価は@42千円となる。

- (2) 売上原価の算定と商品の評価

(借)	仕 入	45,600	(貸)	繰 越 商 品	45,600
	繰 越 商 品	67,200		仕 入	67,200
	棚 卸 減 耗 費	4,200		繰 越 商 品	4,200
	商 品 評 価 損	4,500		繰 越 商 品	4,500

① 期末商品の計算

1,600個×@42千円=67,200千円

② 棚卸減耗費の計算

(1,600個－1,500個)×@42千円=4,200千円

③ 商品評価損の計算

(@42千円－@39千円)×1,500個=4,500千円

6. 金利スワップに関する事項（金利スワップ取引の時価評価とヘッジ会計）

(借)	金 利 ス ワ ッ プ 資 産	48	(貸)	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	48
-----	-----------------	----	-----	---------------	----

7. 貸倒引当金に関する事項

(1) 貸倒懸念債権

(借)	貸 倒 引 当 金 繰 入 額	280	(貸)	貸 倒 引 当 金	280
-----	-----------------	-----	-----	-----------	-----

(1,200 千円－500 千円) × 40% = 280 千円

(2) 一般債権

(借)	貸 倒 引 当 金 繰 入 額	200	(貸)	貸 倒 引 当 金	200
-----	-----------------	-----	-----	-----------	-----

(12,200 千円 (T B 受取手形) － 9,000 千円 (T B 売掛金) － 1,200 千円 (貸倒懸念債権)) × 3% － 400 千円 (T B 貸倒引当金) = 200 千円

8. 減価償却に関する事項

(1) 建物

(借)	減 価 償 却 費	2,160	(貸)	建 物 減 価 償 却 累 計 額	2,160
-----	-----------	-------	-----	-------------------	-------

72,000 千円 (T B 建物) × 90% ÷ 30 年 = 2,160 千円

(2) 備品

(借)	減 価 償 却 費	10,000	(貸)	備 品 減 価 償 却 累 計 額	10,000
-----	-----------	--------	-----	-------------------	--------

(20,000 千円 (T B 備品) － 4,000 千円 (T B 備品減価償却累計額)) × 0.625 = 10,000 千円

(3) リース資産

(借)	減 価 償 却 費	3,704	(貸)	リ ー ス 資 産 減 価 償 却 累 計 額	3,704
-----	-----------	-------	-----	-------------------------	-------

18,520 千円 (T B リース資産) ÷ 5 年 = 3,704 千円

9. 収益・費用の見越・繰延に関する事項

(借)	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	15	(貸)	未 払 費 用	30
	前 払 費 用	15			

10. 法人税等に関する事項

(借)	法 人 税 等	36,000	(貸)	仮 払 金	20,000
				未 払 法 人 税 等	16,000